

平成23 年度（ 22 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 23 年 5 月 10 日

1 事務事業 の 現 状 (D O)	事務事業名	No. 620101	交通安全啓発事業				主管課名	防災安全課				
	この事務事業 の位置	政策	安全で安心して住み続けることができる地域				課長名	天野 達也				
		施策	地域力を高めて安全で安心して暮らせるまち				主管係名	生活安全係				
		基本事業	交通安全意識の高揚									
	(1)事業の概要											
	児童や生徒などの交通弱者を対象に交通安全教室の開催や年代に応じた啓発資材を配付し、交通安全意識の高揚をはかり、交通事故の防止を図る。					(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)						
						名 称		単 位				
						交通安全教室開催回数		回				
						交通安全教室参加者数		人				
						その指標						
(22年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		園児、児童生徒を対象に交通安全普及啓発資材を配付し、また、交通安全教室の開催等により、正しい交通ルールを身に付け、交通事故の防止に努める										
23年度計画	前年と同様 変更あり	▼	変更内容									
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)							
市民					名 称		単 位					
					人口		人					
					その指標							
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)					(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)							
交通安全啓発により、子どもや若者、高齢者の交通事故を減らす。					名 称		単 位					
					子ども(15歳以下)の交通事故死傷者数		人					
					若者(16歳以上24歳以下)の交通事故死傷者数		人					
					高齢者(60歳以上)の交通事故死傷者数		人					
					その指標							
(4)結果(上位基本事業の意図：基本事業にどのように貢献するか)					(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)							
住民の交通安全意識を高めることで交通事故を減らすことができる。					名 称		単 位					
					交通安全教室の開催数		回					
					交通人身事故件数		件					
					交通安全教室参加者数		人					
					その指標							
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単位	21年度実績値	22年度実績値	23年度計画値	24年度目標値	25年度目標値	26年度目標値				
(5)の活動指標		回	32	33	33	33	33	33	33			
		人	10,479	9,549	9,650	9,646	9,705	9,656				
(6)の対象指標		人	57,864	58,216	59,800	60,600	61,400	62,500				
(7)の成果指標		人	22	27	33	27	27	27	27			
		人	79	69	69	69	69	69	69			
		人	69	53	53	53	53	53	53			
(8)の結果の成果指標		回	32	33	33	33	33	33	33			
		件	345	296	290	290	290	290	290			
		人	10,479	9,549	9,650	9,646	9,705	9,656				
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	02	項	01	目	13
(11)コスト		年度	21年度実績値	22年度実績値	23年度計画値	24年度目標値	25年度目標値	26年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単位	3,024	2,997	2,974	2,994	3,004	3,014				
A	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
		その他	千円	0	0	0	0	0	0			
		一般財源	千円	3,024	2,997	2,974	2,994	3,004	3,014			
人件費B		千円	1,597	3,476	3,476	3,476	1,476	3,476				
正職員従事時間×人数		時間×人	200×2	200×2	200×2	200×2	200×2	200×2				
正職員以外の人件費		千円		2,000	2,000	2,000		2,000				
その他費用C		千円		91								
トータルコストA+B+C		千円	4,621	6,564	6,450	6,470	4,480	6,490				
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/人	0	0	0	0	0	0				

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	620101	交通安全啓発事業
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？			(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	昭和40年代から			
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？			
交通事故が大きな社会問題となり、みよし市における道路環境整備や人口の増加により、自動車の保有台数が増加し市外からの流入台数の増加と共に交通事故に遭遇する危険度が増加したため				
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？				
変化していない 変化している → 変化し交通死亡事故は減少傾向にあるが、若者と高齢者の人身事故件数は横ばいとなっている。				

3 評価(SEE)	目的妥当性	(1)この事務事業は法定事務ですか、それとも、自治(任意)事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定事務 →	根拠法令	法定事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する
		自治(任意)事務 →	根拠法令	交通安全対策基本法	
			この事務を行う根拠又は理由	交通安全対策基本法により作成が義務付けられているみよし市交通安全計画に基づき交通安全思想の普及のため行っている	
		(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない →	理由	
		(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる → 拡大 できない → 縮小	内容	
		(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる → 追加 できない → 拡充 絞込み	内容	
		(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある → 影響はない	理由又は内容	
		(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる → できない	理由又は内容	道路交通法の改正時等にタイムリーな啓発資材により啓発を実施すれば効果は向上する。
		(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある → 庁内事業 ない → 庁外事業	類似事業名の再編の可能性	愛知県交通安全協会豊田支部の交通安全啓発事業 ある → 内容 ない
		効率性	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある → ない	内容
(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある → ない		内容		
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある → 現状で適正 ない → 検討が必要 受益者がいない	内容		

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	交通安全教育を充実させ、体験型の手法も取り入れるなど検討を行う。また行政区要望などいただいた交通安全上危険な箇所には注意喚起の看板を今後も設置する。					